

# 「ひきこもり」の理解と社会参加

—誰もが安心して暮らせる社会を目指して—

「ひきこもり」という言葉が社会に浸透し始めてから長い時間が経過していますが、その問題は根深く、“当事者”とされる人々が自分の暮らしに希望を持ちにくい状況が続いています。今、国内には100万人超の「ひきこもり」の状態にある人々がいるとされ、最近ではその長期化と高齢化が進み、社会的な孤立がますます深刻なものとなっています。「ひきこもり」の問題は、本人や家族が丸ごと背負わされてしまうような側面がありますが、誰もが“生きづらさ”や暮らし方の見通しの持ちにくさに直面する現代社会においては、私たち一人一人の問題として捉えていく姿勢が求められます。「ひきこもり」という状態が私たちに何を問いかけているか、そのことから社会は何を学ぶべきなのか、本講演を通して考えてまいりたいと思います。

## 講演

講師：はせがわ としお  
長谷川 俊雄 氏

白梅学園大学子ども学部 教授、社会福祉士・精神保健福祉士

**略歴：**1981年より横浜市役所、社会福祉職として福祉事務所、保健所等でソーシャルワーカーとして勤務。ひきこもり支援では家族教室や当事者グループなどを立ち上げるなど、先駆的な支援に取り組む。2002年、愛知県立大学教員、2010年より現職。社会福祉制度、青少年や家族の問題へ関心を寄せて研究と実践に取り組んでいる。

**著書：**『引きこもりの理解と援助』（共編著）萌文社  
『実践から学ぶ社会福祉』（共編著）保育出版社  
内閣府『ひきこもり支援者読本』（共著） など

◇日時：2021年3月25日(木) 開場 13:30 講演 14:00~16:00

◇会場：赤羽会館 大ホール 東京都北区赤羽南1-13-1

JR赤羽駅 東口・南口より徒歩5分  
東京メトロ南北線 赤羽岩淵駅より徒歩10分

◇定員：100名(先着順)

◇参加費：無料

◇申し込み：不要 当日直接会場へお越しください  
(車いすスペースのご用意があります)

◇問い合わせ：東京つくし会

TEL 03-3304-1108

(10時~15時 水・土・日曜及び祝祭日を除く)

就労支援センター北 わくわくかん

TEL 03-3598-3337

東京都福祉保健局 精神保健医療課

TEL 03-5320-4464

◇主催：東京都

東京都精神保健福祉民間団体協議会(略:都精民協)

都精民協(都内精神保健福祉関連の総合団体8団体の集合体)は、都の委託を受けて精神障害者などへの相談・支援活動を行っている団体です。

◆「新型コロナウイルス感染防止へのご協力について」→裏面をご確認ください



## ◆新型コロナウイルス感染防止へのご協力について

◇参加者の皆様におかれましては、

●来場時のマスク着用

●検温へのご協力

●手洗い・消毒

など、感染予防へのご理解とご協力をお願いいたします。

◇また、以下のような場合は、ご参加をお控えください。

●37.5 度以上の発熱のある方

●咳などの風邪症状のある方

●その他、体調のすぐれない方

以上、感染拡大防止への取り組みをどうぞよろしくお願い申し上げます。